

---

# 第1章 調査概要

---



## 1 調査目的

---

文京区では、高齢になっても住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活することができるよう、高齢者施策の更なる充実や地域包括ケアシステムの実現を目指しています。

令和2年度に高齢者・介護保険事業計画（令和3年度～5年度）を策定するに当たり、区内在住の65歳以上の高齢者で介護保険の要介護1～5以外の第1号被保険者と、介護や様々な地域活動の担い手として期待されるミドル・シニア世代に対し、日常生活の実態、介護予防や健康への取組等を把握するとともに、要介護認定を受けている被保険者とその家族に対し、在宅生活の継続や家族介護者の就労継続に有効な介護サービスの在り方などを検討するため、郵送や聞き取りによる調査を実施しました。

また、区内介護サービス事業所に対しては、事業所の概要や状況の把握とともに、防災対策等の危機管理体制、人員確保やサービスの質の向上への取組状況、また新たに“ひきこもり”や“ダブルケア”に関する設問を設けました。

合わせて、区内介護事業所の従事者を対象に、介護サービスを提供するうえでの課題、仕事や収入への満足度、ハラスメント被害などについて調査を実施しました。

本書は、この「高齢者等実態調査」について、概要を報告するものです。

## 2 調査方法

---

郵送配付、郵送回収

訪問聞き取り（在宅介護実態調査）

## 3 調査期間

---

令和元年10月4日～10月31日

## 4 調査設計

## (1) 区民向け調査

調査名	調査対象者	調査数・抽出方法	主な調査項目
①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査			
	要介護1～5以外の65歳以上の被保険者	3,000人無作為抽出	日常生活圏域ごとに被保険者の身体及び生活状況、地域活動、生きがい等
②50歳以上の現役世代調査			
	要介護認定を受けていない50～64歳の被保険者	3,000人無作為抽出	日常生活圏域ごとに被保険者の地域活動、生きがい等
③在宅介護実態調査（郵送）			
	在宅の要介護認定者及びその家族 （※④の対象者が重複しないよう調整する）	3,000人無作為抽出	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態及び二一ズ、介護者の就労状況等
④在宅介護実態調査（聞き取り）			
	在宅の要介護認定者（要介護4、5）及びその家族 （※③の対象者が重複しないよう調整する）	※1	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態及び二一ズ、介護者の就労状況等

## (2) 事業者向け調査

調査名	調査対象者	調査数・抽出方法	主な調査項目
⑤介護サービス事業所調査			
	区内で介護サービス事業所を運営する事業者	144事業所	事業者概要、今後の事業展開、人材確保策、研修、危機管理、サービスの質の向上への取組、ひきこもりやダブルケアなどの見聞状況等
⑥介護事業従事者調査			
	区内の介護サービス事業所に勤務する介護事業従事者等	720人 事業者にできるだけ多くの職種の方に調査票を配付するよう依頼した。	本人の労働状況や仕事に対する思い、ハラスメント被害の状況等

## 5 回収結果

種類	配付数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
①介護予防・日常生活圏域二 ズ調査(要介護1～5以外の 65歳以上の被保険者)	3,000	2,080	69.3%	2,079	69.3%
②50歳以上の現役世代調査	3,000	1,609	53.6%	1,607	53.6%
③在宅介護実態調査(郵送)	3,000	1,637	54.6%	1,555	51.8%
④在宅介護実態調査(聞き取 り)※1	—	94	—	94	—
⑤介護サービス事業所調査	144	85	59.0%	85	59.0%
⑥介護事業従事者調査 ※2	720	325	45.1%	325	45.1%

- ※1 ④在宅介護実態調査(聞き取り)の調査票は、予備を含めて110件用意し、事業所の協力体制に応じて94件の調査を行いました。
- ※2 ⑥介護事業従事者調査については、1事業所当たり5人分の従事者調査票を送付しています。ただし、従業員が5人に満たない事業所も含まれます。

## 6 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各設問に該当する回答者の総数(人、か所)であり、回答率(%)の母数をあらわしています。
- (2) 回答率は、小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。また、回答者が2つ以上回答することができる質問(複数回答)の場合、その回答率の合計は、100%を超えることがあります。
- (3) 図表タイトルの後に「(いくつでも可)」等の記載がない設問は、単数回答です。
- (4) 選択肢の一部を省略し、又は編集している場合があります。
- (5) クロス集計においては、分析の軸となる表側の項目(性別、年齢別などの属性)の「無回答」は掲載を省略しています。ただし、合計は集計対象の全数を表示しているため、分析の軸となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しません。
- (6) クロス集計表のうち、横に見て回答率(%)が第1位の項目(「特になし」、「無回答」等を除く)に網掛けをしています。ただし、回答数(人数、事業所数)の表は除きます。
- (7) ⑤介護サービス事業所調査では、主とするサービス別のクロス集計の図表において、「問1主とするサービスの種別」で回答がなかった種別は表側に表示していません。
- (8) 図表の下の“※”は補足的な説明です。“(注)”は用語解説です。

(9) 表題の後に調査名を省略して記載しています。

種類	略称
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護1～5以外の65歳以上の被保険者）	第1号・要支援
②50歳以上の現役世代調査	ミドル・シニア
③在宅介護実態調査（郵送）	要介護（郵送）
④在宅介護実態調査（聞き取り）	要介護（聞き取り）

(10) 文京区における日常生活圏域は、下図の4圏域であり、本書では「富坂地区」、「大塚地区」、「本富士地区」、「駒込地区」と表記しています。

区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を富坂・大塚・本富士・駒込地区に2か所ずつ設置しています。

